動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話｛（鉄電） 千葉 2935・2936番
（公） 043（222）7207番

95.3.3 No. 4152

どんなことがあっても
反戦・護憲つらぬく！

中江昌夫事務所開き 盛大に開催！ 2/25

二月二五日、船橋市前原東に開設された事務所において、中江昌夫事務所開きが開催され、支持労組、地元飯山満町会、船橋市民、千葉労組交流センターの仲間、そして動労千葉組合員総勢一〇〇名を超える支持者が集まり、成功をおさめた。

事務所開きは、地元飯山満山の手町会の竹内さんが司会のマイクを握り始められた。

まず、事務所開きの前段で行われた中江選挙対策委員会第一回総会で選出された鈴木宏選対委員長（運輸労連千葉委員長）があいさつし、「逆風が逆巻く中での選挙戦ではあるが、中江さんは、唯一筋を曲げずに奮闘している議員である。わたしも、県下で働く運輸労働者の代表として、全力で中江を支えていく。」とのべた。続いて、選対副委員長（委員長代行）に選出された佐藤信三（二宮・飯山満地区連合町会副会長）さんがあいさつし、「中江さんとは六〇年安保闘争の時にお会いした。いま中江さんが、地元の人のために全力を尽くしている。私も選対副委員長ということで選出された以上全力で中江さんを推していく。」と力強い決意を述べられた。

地元地域・労組の支持者が多数参加！

続いて、それぞれ選対副委員長に選出された地元労組より染井全逓船橋支部長、同山口全電通船橋分会長、地元地域より片山登大宮町会長・中江後援会会長代行、浜田飯山満山の手町会副会長、石原光千・本町五丁目西町会副会長、また、選対委員に選出された全日通船橋分会、京成労組船橋分会・観光分会、ヤマト運輸労組船橋分会や推薦労組である千葉市職員労働組合からあいさつが行われた。

さらに出身労組を代表して動労千葉より中野委員長が、中江選挙をめぐる情勢は、村山政権が発足して以降、社会党の支持率が、一気に下降し、選挙選は不利となっている。しかし、推薦労組は、前回よりも増えている。また地元自治会の支援も拡がっている。これからわれわれがどれだけ闘えるのかにかかっている。阪神大震災にいみじくも見られたとおり、自治体選挙は、自らの命・生活を託すものだ。労働者・市民生活を守る闘いの先頭に起つ議員・中江の四選必勝のためによろしくお願いします。」とあいさつした。

「原点貫き闘い抜く」―中江市議決意表明

最後に中江昌夫船橋市議会が決意表明に起ち「三期一二年は長かったようで短い期間であった。一期目は、『船橋の反核・平和都市宣言』のみを掲げて無我夢中で闘ってきた。また三期のなかで、誰も掲げなかったような政策を掲げ闘い抜き、パート労働者の退職金共済制度や津田沼駅北口の渋滞解消に向けた調査費を獲得してきた。私は、戦争の悲惨さ、軍隊・軍国教育の恐ろしさを身をもって体験した。ゆえにあくまでも『反戦・反核・護憲』をどんなことがあっても引き降ろすことなく闘いぬく。」と力強く決意表明した。

いよいよ選挙戦も本番となった。水野選挙とともに、中江船橋選挙に全力で決起し、ＪＲの不当な労務政策やローカル線切り捨て攻撃に反撃していく布陣を作り上げよう！

中江選挙統一行動を貫徹しよう

●第二次統一行動
三月九日（木）～十三日（月）

●第三次統一行動
三月十八日（土）～二二日（水）

※①集合時間は、いずれの行動日とも、一〇時または一三時を基本とするが、動務の関係も含めて随時可能。②日勤職場については、一八時集合のこと。

中江昌夫をはげます会

三月十九日（日）十四時より
船橋・三田浜楽園（船橋市湊町二―八）
（船橋駅海側下車・船橋市役所近く）

水野―中江選挙に勝利しよう!!